

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2 単位 法と現代	生活と法Ⅲ	狩野 俊郎	1 年次	秋

授業のキーワード	生活に関する法律や法律に係る手続きなどを主に住宅の取得を例にして理解する。
授業の概要	授業科目「生活と法Ⅰ」および「生活と法Ⅱ」で学ぶ所有権や抵当権など物権法、売買や消費貸借など債権法について、住宅の新築や土地購入および銀行業務（住宅ローン等）などを例にして、理論を具体的・実践的に理解・修得する。
期待される学習成果（目標）	単に理論を学ぶだけでなく、契約書類なども使う学習により、卒業後の社会生活で度々出会う法律の実際が理解できるようになる。

## 授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	講義の進め方 とねらい 金融機関の業務	授業のねらい 授業の進め方 金融機関とは	第 9 講	不動産購入 と法 1	住宅土地・建物購入と法律 所有権と登記 売買契約書等 宅地建物取引業法
第 2 講	金融機関の業務 預金業務の法的性質	貸出業務（企業向け／個人向け） 貸出金の法的性質	第 10 講	不動産購入 と法 2	抵当権 抵当権設定契約書
第 3 講	金融機関の業務	為替業務の仕組みと 法的性質 証券化商品 コンプライアンス等	第 11 講	不動産購入 と法 3	保証人と連帯保証人 保証契約書
第 4 講	個人向け貸出 金	住宅ローンについて	第 12 講	住宅ローン を借りる 1	住宅ローン商品の種類 借り入れに必要な書類
第 5 講	住宅とは	着工から完成までの工程（住宅 展示場での講義とレポート作成）	第 13 講	住宅ローン を借りる 2	税法と確定申告書の見方 源泉徴収票の見方
第 6 講	住宅建築	建築に係る契約と手続き 建築に係る注意事項	第 14 講	住宅ローン を借りる 3	会社決算書の見方
第 7 講	住宅建築に係 る法律	建築基準法について	第 15 講	生活と法	ライフサイクルと住宅取得 住宅取得と金利リスク許容度 住宅取得とコンプライアンス
第 8 講	新築手続き	設計と建築確認申請手続き 住宅性能表示制度 長期優良住宅認定制度 住宅瑕疵担保履行法	定期試験		講義で学ぶ物権法や債権法など についての理解度や知識を問う 試験を行う。
評価方法		定期試験 80% 復習テスト 20%			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
(株)きんざい『図説金融ビジネスナビ2014—金融機関の仕事編』 ビジネス教育出版社 [改訂版 住宅ローン相談マニュアル]			経済法令研究会『住宅ローン実務に学ぶ融資法務 Q & A』		